



玉陵 community(コミュニティ)

校訓

~つよく かしく
なかよく あかるく~



「修了証」の価値

3月21日(金)は、1年生から6年生までの修了式です。通知表とともに「修了証」を渡します。教科等の成績には意識が向きますが、この修了証はあまり注目されない傾向があるように思います。義務教育においては「修了・進級」はあたり前に思われがちです。しかし、一つの学年の学びを修了するということは、とても貴重なことだと思っています。

家庭でも、成績の次に修了証を見ていただき子供たちのこの1年間の頑張りを認め、修了を喜びあっていただきたいと思います。

いよいよ卒業式へ

3月24日(月)は、いよいよ卒業式です。令和2年度からの3年間は、まさにすべてがコロナ禍でした。これまでの学校の様々な当たり前が、発想の転換を余儀なくされました。そのため、子供たちにも我慢を受け入れてもらいました。しかし、子供たちはそのような中で、柔軟に対応することも学びました。

卒業式は、保護者の皆様と教職員学校関係者、学校運営協議会、在校生代表4・5年生、来賓の皆様による心に残る卒業式を実現していきます。

6年生の皆さん、式の本番の失敗は気になくていいです。うまくやろうと思わなくていいです。一つ一つの動作に心をこめることを大切にしましょう。これまで育てていただいたご家族に精一杯「感謝を伝える」式にしてください。これまで、子供た

ちの成長を見守っていただいた地域の皆様、ありがとうございました。

玉陵学園 小中での児童生徒の育成

6年生「中学校体験授業」

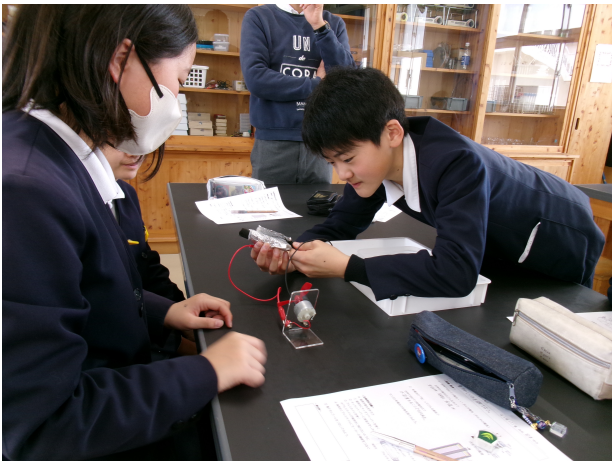
3月11日(火)は、中学校入学前の不安にさよならするための先取り体験として、中学校体験授業を行ってもらいました。

今年は、英語の立山真一先生と理科の相浦哲先生の体験授業でした。

英語の授業は、「マイケル立山」に扮した立山先生が、ゲームを通して、英語を表現する楽しさを教えてくださいました。中学校では、英語の「表現の仕組み」を知り、読んだり、書いたりできることで、世界を広げていこうと伝えられました。



理科の授業は、「電池を作ろう」という学習でした。マンガン電池を分解し、構造を知り、自分たちで電池を作りました。理科ならではの授業で、食塩水、木炭など身近な材料で電池ができたことに子供たちは、感動していました。



どちらの授業も、子供たちは「とても楽しかった、面白かった。」と笑顔で感想を語ってくれました。中学校への入学がきっと楽しみになったことでしょう！！

「最後の・・・」

感謝を表し、伝える人に

今年度も残りわずかとなりました。いろんな場面で「〇年生最後の・・・」とか、6年生にとっては「小学校生活最後の・・・」といった場面が次々に出てきます。「こんなときこそ、あらためて感謝を表すことを大切にしてほしい。それは人に対してであることはもちろんのこと、物に対してであったり、場に対してであったり」と、担任の先生を通して話してもらいました。

まず、私から、保護者の皆様に感謝をお伝えしたいと思います。様々な学校の取組を充実させることができたのは、皆様の協力があったからこそです。保護者に支えられて学校がある、とつくづく思います。P

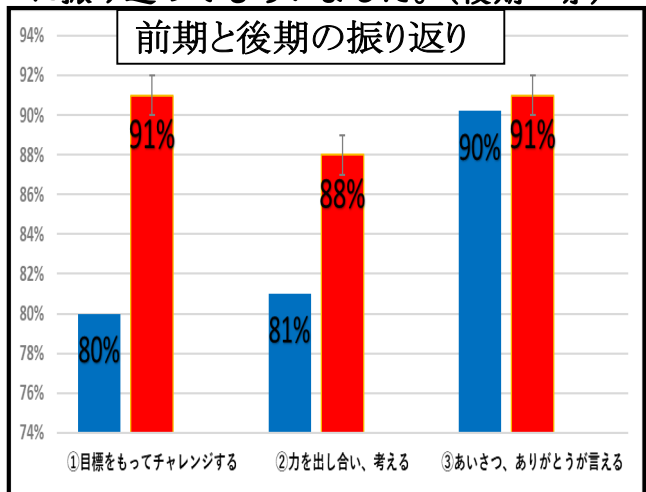
TA役員の皆様には、子供のため、学校のためにと、多くの時間、労力を割いていただきました。ありがとうございました。次年度の役員の皆様には1年間たいへんど苦勞をおかけします。よろしくお願いします。

また、地域の皆様、ボランティアの皆様にも感謝をお伝えします。地域ぐるみで子供たちを見守り、育てていただきありがとうございました。皆様との出会いを子供たちはとても楽しみにしています。次年度もよろしくお願いします。

笑顔かがやく

玉陵っ子の育成をめざして

4月から、たくさんの子供たちのよさ、輝きを学校だより、HP等で発信してきました。はじめは、恥かしそうにしていた子供たちが、今は、自信を持って発表したり、自分からあいさつをしたり・・・1年間、子供たちは様々な活動を通して成長してきました。年度当初目標にした「身に付けて欲しい三つの力」について子供たちに振り返ってもらいました。(後期：赤)



1年間子供たちは頑張りました。しかし、それを支えて下さったご家族、地域の皆様のご理解とご協力のお陰だと感謝しております。反省点や課題は、次年度の教育活動に生かし、更に子供たちの成長に繋げていきたいと思っています。1年間、本当にありがとうございました。